

# 摺上川ダムの洪水調節効果

～河川の氾濫による被害から下流域の人々を守ります～

## 洪水の概要

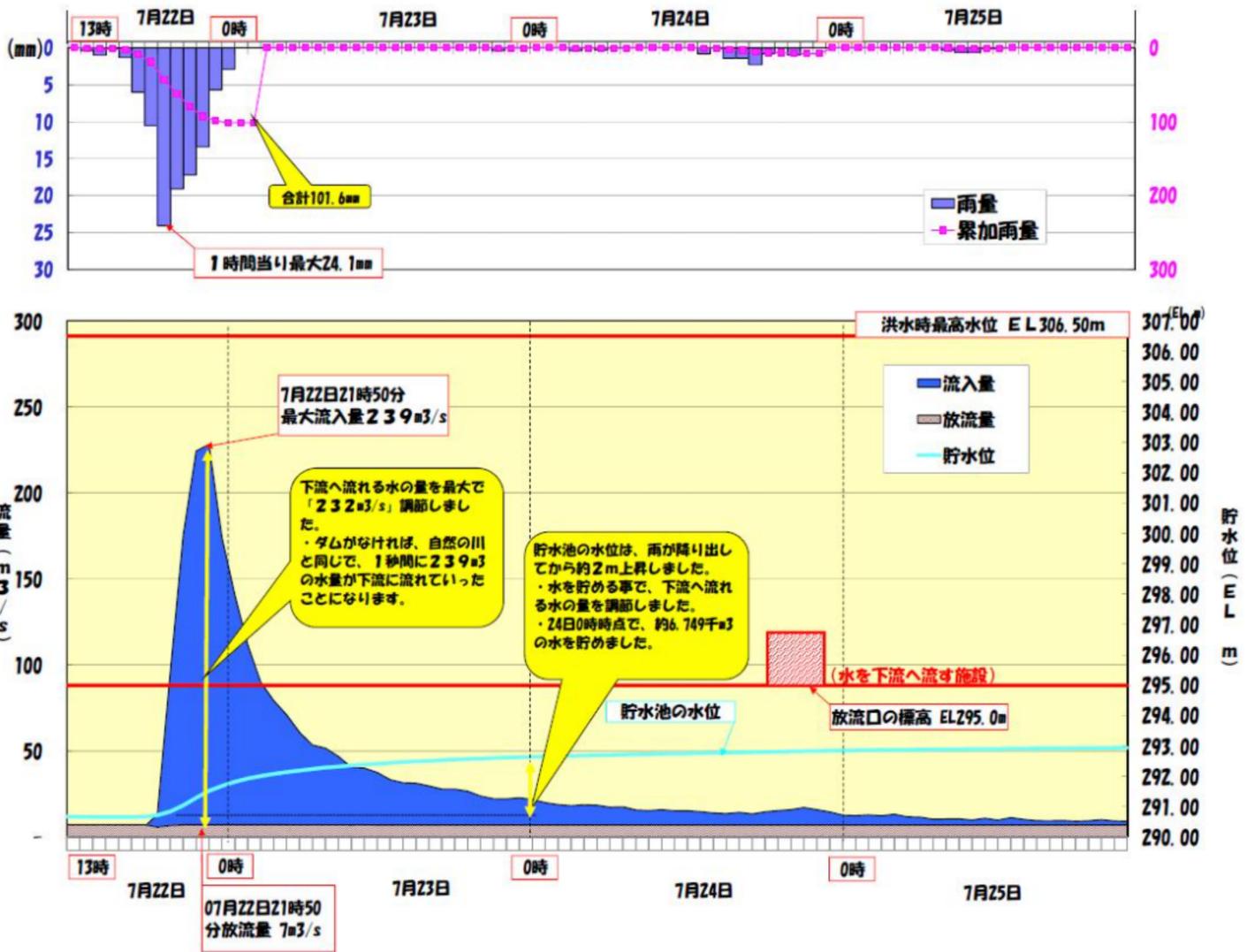
梅雨前線及び低気圧が東北地方を通過し、梅雨前線の影響により摺上川ダム流域では、平成25年7月22日13:00頃から雨が降り出し、7月24日0:00までの累加雨量は101.6mmに達しました。この降雨により摺上川ダムへ流れ込んだ水の量は7月22日21:50にピークに達し、洪水量（毎秒100m<sup>3</sup>）を超える毎秒239m<sup>3</sup>を記録しました。

## 摺上川ダムの効果

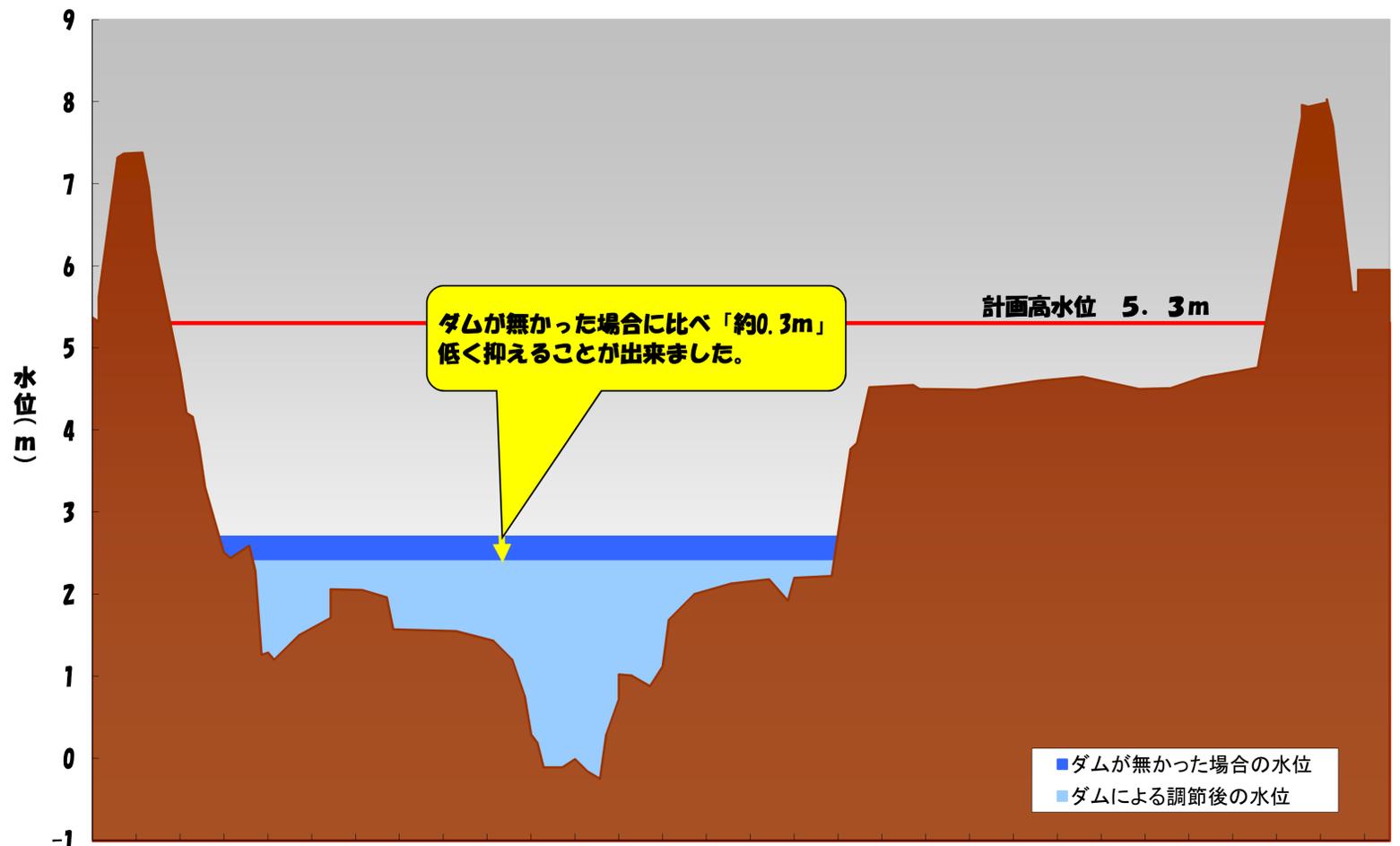
今回の洪水でダムへ流れ込んだ水の量は最大毎秒239m<sup>3</sup>に達しましたが、下流河川に流した水の量は毎秒7m<sup>3</sup>に抑えられ、「毎秒232m<sup>3</sup>」の洪水をダムに貯水することが出来ました。この結果、摺上川ダム下流部の瀬ノ上地点での河川水位は、ダムが無かった場合に比べ約0.3m低く抑えることが出来ました。

## 洪水調節のグラフ

～H25. 7. 22 洪水調節図～



## 瀬ノ上地点でのダム効果



瀬ノ上 ダムによる洪水調節効果